



# 辻川だよい

第30号 [2014夏号] 平成26年7月5日発行

発行 辻川区 [辻川公民館]

〒679-2204 福崎町西田原1227

TEL 0790-22-5763

ホームページ [http://www10.plala.or.jp/tujikawa/public\\_html/](http://www10.plala.or.jp/tujikawa/public_html/)

4/26 「もちむぎマーチ」ダンス



4/26 大にぎわいの山桃かき氷屋



**減災**

兵庫県は6月3日、南海トラフ巨大地震が起きた場合、最悪のケースで死者が2万9千人余りに上るとする被害想定を発表した。津波による死者が96%を占めるとしている。一方で、建物の耐震化、防潮堤の強化、避難の迅速化を完全に実施すれば、死者は400人にまで減らせるとの試算も立派な被害はないが、家屋の倒壊や火災、ライフラインの被害が想定される。

県の担当者は「油断せず、冷静に避難すれば、犠牲者は劇的に減らせる」とし、防災会議専門委員長は、「重要なのは「正しく恐れること」という。

当地区においては、数年前から防災に取り組んではきたものの、今後の課題は災弱者の支援であろう。高齢者や障害者、災害時ににおける要支援者の方をいかに安全に避難させることができるか、検討していくたいと考えている。

5/2 有井堂の格子戸も新調



神社・お堂がきれいに



4/12 鈴の森神社拝殿の腰板と賽銭箱の修理



高藤稻荷の木々も4月に剪定

協議員会は今

4～6月の協議員会での報告・検討内容を一部紹介します。

① 運動会・溝普請の内容確認  
② 界隈展・民俗学の夕べ内容検討。文化委員会も。今年中に来年度界隈展の開催時期や内容検討を実施。

③ 鈴の森神社玉垣改修推進  
これで計38基がLED化に。  
区内防犯灯76基中、今年度は20基のLED化を実施。

④ 自律(立)のまちづくり交付金制度の対象事業検討  
これで計38基がLED化に。  
区内防犯灯76基中、今年度は20基のLED化を実施。

⑤ 自律(立)のまちづくり交付金制度の対象事業検討  
金制度の対象事業検討

★ お願いとお知らせ

★ 公民館使用について

事前に担当の堀さん(22-0305)

へ連絡の上、公民館玄関内の力

レンダーに使用団体名記入を

★ 「ゴミステーション」に施錠

公民館横のゴミ置場ではルーラル違反が続くため週末施錠

★ 公民館のトイレ改修

小便器にセンサー。1階出入

口に踏み台、天井と壁の塗装も

★ 辻川鬼太鼓が山桃恋に

8/2山桃忌オープニングに

「三世代」の鬼家族が出演

5/2(土) 前回(平成十五年に正面参道の

5/2(土) から11年ぶりの大改

修。平成十六年十月の台風23号で倒壊(辻川山北斜面の大規模

倒木)した恵美酒神社西ノ北側の玉垣の基礎や境内の木の成長によってはらみ出した石垣の修復も併せて行ったためいたいたのは小柱が165本、中柱が50本、大柱が3本の計218本。前々回以前の玉垣改修には長石(おさじ)、加西市

◆ 4月13日(日) 夏まつり  
祭り行司のお知らせ

◇ 7月13日(日) 夏まつり  
10時に神主様お祓い(ほらい)

お願いしています。

気象災害対策 (2)

気象災害には、下図のようないずれかの災害があります。今回は台風対策についてまとめました。

\*大雨洪水警報発令後、辻川区に関係がある洪水情報とは…

1 「避難準備情報」：「災害時要援護者」が避難を開始。一般の住民が避難準備情報の発令により行うべき避難準備には、次の内容があります。①正しい情報の入手 ②持ち物の準備 ③避難場所の確認 ④近所の人への声かけ ⑤避難前には必ず電気のブレーカーを落とす(通電火災を防ぐ)…

→2 「避難勧告」：避難を始める。→3 「避難指示」：直ちに避難する。ただし、用水路を横切る避難経路は注意が必要。浸水域が広がり水路と道路の境が判らない状況では危険。自宅2階に避難する。なお、「避難命令」という用語が「避難指示」と同義的に使われたり、「避難指示」の次の段階と誤解されていることがあるようですが、日本にはこれに当たる制度はないそうです。「避難命令」はしいて言うなら、実質上は「警戒区域の指定」＝「避難命令」とも捉えることができるようです。

\* 「記録的短時間大雨情報」とは… 気象庁が「大雨警報」を出して警戒を呼びかけている時に短時間に猛烈な大雨を観測した場合、災害への一層の警戒を呼びかけるもの。

気象庁のリーフレットをスキャンしました

被害をイメージして  
回避しよう!

## 積乱雲に伴って、このような災害が発生します！

### 急な大雨による災害



**▲増水と雷に注意が必要**

渓流・河川敷・中州・親水公園における釣り・キャンプ・バーベキュー・水遊びなど

### 雷による災害



**●落雷**

まわりより高い所  
に落ちやすい!  
周囲が開けた  
場所は危険!

**●側撃雷**

木の幹や枝から  
雷にうたれることも!  
木のそば  
は危険!

**▲雷に注意が必要**

危険な場所や  
状況は…  
ゴルフ・サッカー・野球などの屋外スポーツ  
公園、海・山におけるレジャーなど

### 竜巻による災害



**●建物の倒壊**

**●飛来物の衝突**

**●屋根瓦が飛散**

他にも…  
●電柱・樹木の倒壊  
●テント等の飛散など

強い竜巻では列車や自動車  
が転覆することもあります。

危険な状況を  
避けるには…

雷から身を  
守るには…

竜巻から身を  
守るには…

1 雨が降り始めたら、空や川に異変を感じたら、  
すぐに水辺から離れる

●上流に降った雨で、急に増水することがあります。  
●サイレンの音は、ダム放流の合図です。

**危険!** 水かさが増え、濁ったり、枝などが流れてくる時は危険です。

2 浸水した場所に注意

**危険!** 大雨のときは地下室や地下街は水が流れ込み、危険です。  
●浸水した道路では、側溝が見えずマンホールのふたが外れている場合もあり危険です。

●地下を通る道路など低い場所では通行に注意が必要です。



**危険!** 車が水につかると、  
水圧でドアが開かなくなり危険です。

1 雷鳴が聞こえたらすぐ避難

●雷鳴が遠くても、雷雲はすぐに近づいてきます。  
屋外にいる人は安全な場所に避難しましょう。

2 建物の中や自動車へ避難

●建物や屋根付きの乗り物(自動車など)へ避難しましょう。

**危険!** 雨宿りで木の下に入るのは大変危険です。

3 木や電柱から4m以上離れる

●側撃雷の恐れがあるので、木や電柱から4m以上離れてください。  
右の図の三角の範囲内は比較的危険は小さいですが、なるべく早く屋内の安全な場所に避難しましょう。

●近くに避難する場所が無い場合は、

姿勢を低くしましょう。

冊子「雷から身を守るには」(日本大気電気学会編集)から引用

1 頑丈な建物の中へ避難

●避難するときは屋根瓦などの飛来物に注意しましょう。  
●避難できない場合は、物陰やくぼみに身を伏せましょう。

**危険!** X 車庫・物置・プレハブ(仮設建築物)への避難は危険です。

2 屋内でも窓や壁から離れる

●家の中心部に近い、窓のない部屋に移動しましょう。  
●窓、戸戸を閉め、カーテンを引きましょう。  
●頑丈な机の下に入り、頭と首を守りましょう。



1階の窓の無い部屋へ  
窓のある部屋では  
窓のある部屋では  
カーテンを開め、  
窓から離れる

A Q 雷が原因で家電が壊れたら  
A Q 被害に遭いややすい機器は?  
A FAXや電話機、インターネットなど、電源線(電話やインターネット回線等)、アンテナ(テレビ等)、接続線(アース線等)。それらの侵入経路に適切な避雷器を取り

Q 一般的に建物自体の雷被害は火災保険で補償される。しかし、建物内の家電製品が雷で壊れた場合などは、火災保険の家財を対象にした保険に加入しないければ補償されない。侵入経路は主に次の4つ。

Q 落雷に弱い家電製品

Q 被害に遭いややすい機器は?

FAXや電話機、インターネットなど、電源線(電話やインターネット回線等)、アンテナ(テレビ等)、接続線(アース線等)。それらの侵入経路に適切な避雷器を取り

Q 雷が原因で家電が壊れたら一般的に建物自体の雷被害は火災保険で補償される。しかし、建物内の家電製品が雷で壊れた場合などは、火災保険の家財を対象にした保険に加入しないければ補償されない。侵入経路は主に次の4つ。

Q 落雷に弱い家電製品

Q 被害に遭いややすい機器は?

FAXや電話機、インターネットなど、電源線(電話やインターネット回線等)、アンテナ(テレビ等)、接続線(アース線等)。それらの侵入経路に適切な避雷器を取り

Q 雷とどうの対策一般

Q 避雷針と避雷器の違いは?

Q 避雷針は雷から建物や人を守るので、屋上に取り付け、ここに落ちた雷を地面に逃す。避雷器は雷から電気製品を守るもので、電柱や分電盤、電話線、アンテナ等に取り付ける。家庭用にはコンセント(コードタップ)に避雷器を内蔵したもので、電柱や分電盤、電話線、アンテナ等に取り付ける。避雷器は雷から電気製品を守るもので、電柱や分電盤、電話線、アンテナ等に取り付ける。家庭用にはコンセント(コードタップ)に避雷器を内蔵した製品も市販されている。

Q 直接雷と誘導雷とは?

Q 直接雷が落ちなくて近くに落雷があると、電線や地下の配管などを伝つて雷が侵入することがある。数キロ先の落雷で電気製品が壊れてしまうこともある。この原因となるのが誘導雷。近くで雷が鳴つたら雷が誘導雷の危険性がある。誘導雷の被害は一見、ただの故障と見られる場合が多い。外観に損傷がなくとも中の部品が壊れていることがある。

Q 雷が原因で家電が壊れたら一般的に建物自体の雷被害は火災保険で補償される。しかし、建物内の家電製品が雷で壊れた場合などは、火災保険の家財を対象にした保険に加入しないければ補償されない。侵入経路は主に次の4つ。

Q 落雷に弱い家電製品

Q 被害に遭いややすい機器は?

FAXや電話機、インターネットなど、電源線(電話やインターネット回線等)、アンテナ(テレビ等)、接続線(アース線等)。それらの侵入経路に適切な避雷器を取り

Q 雷とどうの対策一般

Q 避雷針と避雷器の違いは?

Q 避雷針は雷から建物や人を守るので、屋上に取り付け、ここに落ちた雷を地面に逃す。避雷器は雷から電気製品を守るもので、電柱や分電盤、電話線、アンテナ等に取り付ける。家庭用にはコンセント(コードタップ)に避雷器を内蔵した製品も市販されている。

Q 直接雷と誘導雷とは?

Q 直接雷が落ちなくて近くに落雷があると、電線や地下の配管などを伝つて雷が侵入することがある。数キロ先の落雷で電気製品が壊れてしまうこともある。この原因となるのが誘導雷。近くで雷が鳴つたら雷が誘導雷の危険性がある。誘導雷の被害は一見、ただの故障と見られる場合が多い。外観に損傷がなくとも中の部品が壊れていることがある。

Q 雷が原因で家電が壊れたら一般的に建物自体の雷被害は火災保険で補償される。しかし、建物内の家電製品が雷で壊れた場合などは、火災保険の家財を対象にした保険に加入しないければ補償されない。侵入経路は主に次の4つ。

Q 落雷に弱い家電製品

Q 被害に遭いややすい機器は?

FAXや電話機、インターネットなど、電源線(電話やインターネット回線等)、アンテナ(テレビ等)、接続線(アース線等)。それらの侵入経路に適切な避雷器を取り

Q 雷とどうの対策一般

Q 避雷針と避雷器の違いは?

Q 避雷針は雷から建物や人を守るので、屋上に取り付け、ここに落ちた雷を地面に逃す。避雷器は雷から電気製品を守るもので、電柱や分電盤、電話線、アンテナ等に取り付ける。家庭用にはコンセント(コードタップ)に避雷器を内蔵した製品も市販されている。

Q 直接雷と誘導雷とは?

Q 直接雷が落ちなくて近くに落雷があると、電線や地下の配管などを伝つて雷が侵入することがある。数キロ先の落雷で電気製品が壊れてしまうこともあります。この原因となるのが誘導雷。近くで雷が鳴つたら雷が誘導雷の危険性がある。誘導雷の被害は一見、ただの故障と見られる場合が多い。外観に損傷がなくとも中の部品が壊れていることがあります。

Q 雷が原因で家電が壊れたら一般的に建物自体の雷被害は火災保険で補償される。しかし、建物内の家電製品が雷で壊れた場合などは、火災保険の家財を対象にした保険に加入しないければ補償されない。侵入経路は主に次の4つ。

Q 落雷に弱い家電製品

Q 被害に遭いややすい機器は?

FAXや電話機、インターネットなど、電源線(電話やインターネット回線等)、アンテナ(テレビ等)、接続線(アース線等)。それらの侵入経路に適切な避雷器を取り

Q 雷とどうの対策一般

Q 避雷針と避雷器の違いは?

Q 避雷針は雷から建物や人を守るので、屋上に取り付け、ここに落ちた雷を地面に逃す。避雷器は雷から電気製品を守るもので、電柱や分電盤、電話線、アンテナ等に取り付ける。家庭用にはコンセント(コードタップ)に避雷器を内蔵した製品も市販されている。

Q 直接雷と誘導雷とは?

Q 直接雷が落ちなくて近くに落雷があると、電線や地下の配管などを伝つて雷が侵入することがある。数キロ先の落雷で電気製品が壊れてしまうこともあります。この原因となるのが誘導雷。近くで雷が鳴つたら雷が誘導雷の危険性がある。誘導雷の被害は一見、ただの故障と見られる場合が多い。外観に損傷がなくとも中の部品が壊れていることがあります。

Q 雷が原因で家電が壊れたら一般的に建物自体の雷被害は火災保険で補償される。しかし、建物内の家電製品が雷で壊れた場合などは、火災保険の家財を対象にした保険に加入しないければ補償されない。侵入経路は主に次の4つ。

Q 落雷に弱い家電製品

Q 被害に遭いややすい機器は?

FAXや電話機、インターネットなど、電源線(電話やインターネット回線等)、アンテナ(テレビ等)、接続線(アース線等)。それらの侵入経路に適切な避雷器を取り

Q 雷とどうの対策一般

Q 避雷針と避雷器の違いは?

Q 避雷針は雷から建物や人を守るので、屋上に取り付け、ここに落ちた雷を地面に逃す。避雷器は雷から電気製品を守るもので、電柱や分電盤、電話線、アンテナ等に取り付ける。家庭用にはコンセント(コードタップ)に避雷器を内蔵した製品も市販されている。

Q 直接雷と誘導雷とは?

Q 直接雷が落ちなくて近くに落雷があると、電線や地下の配管などを伝つて雷が侵入することがある。数キロ先の落雷で電気製品が壊れてしまうこともあります。この原因となるのが誘導雷。近くで雷が鳴つたら雷が誘導雷の危険性がある。誘導雷の被害は一見、ただの故障と見られる場合が多い。外観に損傷がなくとも中の部品が壊れていることがあります。

Q 雷が原因で家電が壊れたら一般的に建物自体の雷被害は火災保険で補償される。しかし、建物内の家電製品が雷で壊れた場合などは、火災保険の家財を対象にした保険に加入しないければ補償されない。侵入経路は主に次の4つ。

Q 落雷に弱い家電製品

Q 被害に遭いややすい機器は?

FAXや電話機、インターネットなど、電源線(電話やインターネット回線等)、アンテナ(テレビ等)、接続線(アース線等)。それらの侵入経路に適切な避雷器を取り

Q 雷とどうの対策一般

Q 避雷針と避雷器の違いは?

Q 避雷針は雷から建物や人を守るので、屋上に取り付け、ここに落ちた雷を地面に逃す。避雷器は雷から電気製品を守るもので、電柱や分電盤、電話線、アンテナ等に取り付ける。家庭用にはコンセント(コードタップ)に避雷器を内蔵した製品も市販されている。

Q 直接雷と誘導雷とは?

Q 直接雷が落ちなくて近くに落雷があると、電線や地下の配管などを伝つて雷が侵入することがある。数キロ先の落雷で電気製品が壊れてしまうこともあります。この原因となるのが誘導雷。近くで雷が鳴つたら雷が誘導雷の危険性がある。誘導雷の被害は一見、ただの故障と見られる場合が多い。外観に損傷がなくとも中の部品が壊れていることがあります。

Q 雷が原因で家電が壊れたら一般的に建物自体の雷被害は火災保険で補償される。しかし、建物内の家電製品が雷で壊れた場合などは、火災保険の家財を対象にした保険に加入しないければ補償されない。侵入経路は主に次の4つ。

Q 落雷に弱い家電製品

Q 被害に遭いややすい機器は?

FAXや電話機、インターネットなど、電源線(電話やインターネット回線等)、アンテナ(テレビ等)、接続線(アース線等)。それらの侵入経路に適切な避雷器を取り

Q 雷とどうの対策一般

Q 避雷針と避雷器の違いは?

Q 避雷針は雷から建物や人を守るので、屋上に取り付け、ここに落ちた雷を地面に逃す。避雷器は雷から電気製品を守るもので、電柱や分電盤、電話線、アンテナ等に取り付ける。家庭用にはコンセント(コードタップ)に避雷器を内蔵した製品も市販されている。

Q 直接雷と誘導雷とは?

Q 直接雷が落ちなくて近くに落雷があると、電線や地下の配管などを伝つて雷が侵入することがある。数キロ先の落雷で電気製品が壊れてしまうこともあります。この原因となるのが誘導雷。近くで雷が鳴つたら雷が誘導雷の危険性がある。誘導雷の被害は一見、ただの故障と見られる場合が多い。外観に損傷がなくとも中の部品が壊れていることがあります。

Q 雷が原因で家電が壊れたら一般的に建物自体の雷被害は火災保険で補償される。しかし、建物内の家電製品が雷で壊れた場合などは、火災保険の家財を対象にした保険に加入しないければ補償されない。侵入経路は主に次の4つ。

Q 落雷に弱い家電製品

Q 被害に遭いややすい機器は?

FAXや電話機、インターネットなど、電源線(電話やインターネット回線等)、アンテナ(テレビ等)、接続線(アース線等)。それらの侵入経路に適切な避雷器を取り

Q 雷とどうの対策一般

Q 避雷針と避雷器の違いは?

Q 避雷針は雷から建物や人を守るので、屋上に取り付け、ここに落ちた雷を地面に逃す。避雷器は雷から電気製品を守るもので、電柱や分電盤、電話線、アンテナ等に取り付ける。家庭用にはコンセント(コードタップ)に避雷器を内蔵した製品も市販されている。

Q 直接雷と誘導雷とは?

Q 直接雷が落ちなくて近くに落雷があると、電線や地下の配管などを伝つて雷が侵入することがある。数キロ先の落雷で電気製品が壊れてしまうこともあります。この原因となるのが誘導雷。近くで雷が鳴つたら雷が誘導雷の危険性がある。誘導雷の被害は一見、ただの故障と見られる場合が多い。外観に損傷がなくとも中の部品が壊れていることがあります。

Q 雷が原因で家電が壊れたら一般的に建物自体の雷被害は火災保険で補償される。しかし、建物内の家電製品が雷で壊れた場合などは、火災保険の家財を対象にした保険に加入しないければ補償されない。侵入経路は主に次の4つ。

Q 落雷に弱い家電製品

Q 被害に遭いややすい機器は?

FAXや電話機、インターネットなど、電源線(電話やインターネット回線等)、アンテナ(テレビ等)、接続線(アース線等)。それらの侵入経路に適切な避雷器を取り

Q 雷とどうの対策一般

Q 避雷針と避雷器の違いは?

Q 避雷針は雷から建物や人を守るので、屋上に取り付け、ここに落ちた雷を地面に逃す。避雷器は雷から電気製品を守るもので、電柱や分電盤、電話線、アンテナ等に取り付ける。家庭用にはコンセント(コードタップ)に避雷器を内蔵した製品も市販されている。

Q 直接雷と誘導雷とは?

Q 直接雷が落ちなくて近くに落雷があると、電線や地下の配管などを伝つて雷が侵入することがある。数キロ先の落雷で電気製品が壊れてしまうこともあります。この原因となるのが誘導雷。近くで雷が鳴つたら雷が誘導雷の危険性がある。誘導雷の被害は一見、ただの故障と見られる場合が多い。外観に損傷がなくとも中の部品が壊れていることがあります。